

各 位

G20 記念企画「小山町観音地で植樹祭と自然観察会」(3月8日)
里山と森の復元の開催結果のご報告について

千葉市板倉大椎土地改良区
理事長 小高守正
緑の環・協議会
理事長 奥山 淳

3月8日に開催しましたG20記念事業「小山町観音地で植樹祭と自然観察会」は天候にも恵まれ無事終了しましたので、その結果をご報告致します。

前日に適量の雨が降り、当日は風もなく温暖な快晴日と天候にも恵まれ、観察会は子供33人、大人19人、植樹祭は子供36人、大人116人、合計152人の参加者により予定した植樹を行うことができました。昼食懇談会では来賓の方々の感想や地元の方々の思い、都市住民の方々の感想などを率直に伺うことができました。

子供達は観察会でニホンアカガエルの卵塊やヤゴを見つけ、井戸水を飲んだり、話を聞いた後、植林を行い、植えた苗の根元に霜よけのわらや風除けのヒノキの葉を敷いたり重い水を何度も運んで水やりし、自分の名前を書いたプレートを付けてくれました。感想カードも出してくれました。

参加者からは、「樹木が切り取られ、土が掘り出された里山を水源涵養林として復元する難しさ」「条件の悪いところに、自分たちの植えた木がどうか無事に育って欲しい」、「これからはできることを参加していきたい」、「今後は植えた木がどうなっているか時々見に来ていいか」という声がありました。

一方、地元の方々は農林業の後継問題や生業の困難な実情の中で、準備や後片付けを含めて40名近くがスタッフとして運営に当たってくれました。まだ砂漠のような荒地が半分残してはいますが、広いグラウンドのような対象地が多くの人によって木が植えられている光景は、今後この土地がより多くの人によって復元されていく、土地改良区が当地を取得したときの「孫子の時代までいい水でコメを作れる環境を守りたい」という思いに初めて具体的に共鳴が得られたことを実感し、一緒に育てていただける人の環の広がりを確信させるものとなりました。

来賓の方々も多く、議員の方々、千葉市環境部、千葉県農林振興センター、里山シンポジウム実行委員会から、遠くは東京から、千葉市内外からご参加頂き、また、㈱リコー様など企業の協賛参加も多数頂きました。短期間の準備と周知の中で困難な植林を実行することの大切さが伝わったという貴重な経験を得ることができました。

植樹祭の企画実行にあたり、専門家からの植栽計画ご指導、千葉県からの苗木の提供・普及指導員の派遣、千葉市からの腐葉土の提供・観察指導員の派遣及び植林へのご参加など後援名義の使用にとどまらず多大なご支援を頂き、多くの方が一つの目標に向かって協力して、森の復元の第一歩をお祝いすることができました。

植樹の取組みは始まったばかりです。木が根付くまでの初期を丁寧に育てていく土台ができました。地元の方々と都市住民、企業の方々など大勢の方々が一緒に手入れをしたり観察や自然についての勉強をしていくこととなります。この取組みの結果が、G20をはじめ多方面に発信することにより、地球温暖化防止や生物多様性確保の取組みの一助となることを確信しました。

なお、今回ご寄付頂いた資金は、お約束どおり、不足する腐葉土や苗木等植林や水、土壌の調査に当てる予定です。

最後に皆様方のご協力ご協賛に深謝申し上げ、今後共種々のご指導、ご支援をお願いしてご報告と致します。

以上

| | |
|----------------|---|
| 1 行事の名称 | G20 記念企画 小山町観音地で植樹祭と自然観察会 --- 里山と森の復元 |
| 2 主催者等 | 主催：千葉市板倉大椎土地改良区 共催：緑の環・協議会 後援：千葉市、千葉県、 ちば生物多様性県民会議、里山シンポジウム実行委員会 |
| 3 開催日時 | 平成 20 年 3 月 8 日 (土) 9:30 ~ 13:30 |
| 4 開催場所 | 千葉市緑区小山町 291-1、292 (小山町観音地) / 近隣の谷津田 (駐車場は昭和の森第 3P) |
| 5 行事の目的 | 身近な地域の自然と森林の大切さに目を向けてもらい、地域住民と地域の子供たちが参加し、村田川源流域の水源涵養林として、植えた木の成長を大勢の方とお祝いできるようなイベントとする。 |
| 6 行事の内容 結果等 | <p>【第 1 部】自然観察会 (小学生対象：33 名、大人 19 名、観察指導員の方 6 名) 集合 9:30 水辺の郷公園駐車場 (小山町側の駐車場) 小山町アザミ谷津周辺をグループに分かれて観察 (持ち物：筆記用具、長靴) ニホンアカガエルの卵塊、ヤゴが見られ、生活井戸水を頂きました</p> <p>【第 2 部】植樹祭 (参加予定人数：子供 36 名、大人 105 名、計 141 名) 準備作業：予定外でしたが多くの方が早くから集まって頂き、急遽穴掘りを先行して行いました (約 40 分、子供達合流まで) 開始 10:30 小山町観音地 (持ち物：軍手、長靴、スコップまたはシャベル) 理事長挨拶、来賓紹介、植樹の手順説明、班分け、苗等の寄付紹介、注意事項 普及指導員の方のからの植え方実演指導 植林作業、水遣り、霜よけ風よけ、プレートづくり (60 枚) 感想カードづくり (36 枚) (甘酒の振る舞い) 「楽しかった」「大きく育てて欲しい」「森を大切にしたい」「様子を見に来たい」</p> <p>記念品抽選会 (景品・提供者の紹介、抽選小高理事長) 参加賞 (小冊子「くまともりとひと」、参加賞景品) の配布中締め</p> <p>懇親会 (復元等懇談 (参加希望者) お弁当持参、豚汁の提供) 植林地で昼食後、来賓の方 (㈱リコー様、千葉市環境保全推進課、里山シンポジウム実行委員会事務局長、地元の方 (小山地区、板倉地区、あすみが丘) 里山シンポジウム第 22 分科会として報告予定 (5/18 全体会議に参加) 資料配布</p> |
| 7 広報 | ポスター、依頼書等の配布、店舗への掲示、HP 掲載、県の G20 サイドイベント登録、市の広報 HP 掲載、千葉日報、NHK、TBS |
| 8 収支予算 収支決算 | 支出 90,700 円 但し、参加寄付金 (500 円 × 60 人 = 30,000 円) は、今後の跡地復元費用に充当 支出 |
| 9 備考 | <p>事前申込要、入場料等：参加寄附金 (大人・1 人) 500 円 問合せ先：緑の環・協議会 電話：043-294-6885 FAX：043-294-6885 住所：千葉市緑区あすみが丘 2-38-15 担当：星野 E-mail：er8m-hsn@asahi-net.or.jp URL：http://www.g-cycle.org/</p> |

来賓者リスト

議会 川本県会議員、三須市会議員、石井市会議員、松野衆議院議員秘書 曾我様
 行政 千葉市環境保全部 和田部長、環境保全推進課 鈴木様、濱野様、江澤様、
 公園建設課 齊藤様、美浜公園緑地事務所 安井様、市農政センター農業振興課
 小倉様、千葉県農林振興センター普及指導員 恵様
 団体 里山シンポジウム実行委員会事務局 荒尾様
 企業 (株)リコー社会環境本部 掛川様、

寄付一覧 (別紙)

寄付金は苗、肥料の購入し一部を当てました。残金はお約束どおり、手入れをする際の用具やさらに追加して必要な堆肥、苗などに当てることとします。

植栽エリアと主要樹種 (別紙)

植生調査の時に中心を決め、4つのブロックに分けたものを基に、現存植生のエリアを配慮して散策道を作り、手入れの際に大型機械を通す間隔・通路等を確保しました。

A：下泉・森のサミット、B：千葉県(みどり推進課、林務課)、C：コナラ・クヌギ(緑の環)

D：コナラ・クヌギのほか持ち寄り、E：マツ(土地改良区)・いろはモミジ F：ヤマザクラ、B 通路北側：こぶし (各エリアに主として配置し、種類が混ざるようにし配分しました)

懇談会 発言要旨

- ・企業として紙を扱っているため森林の問題に関心を持っている。下泉のリコーの森の隣で雑木林を育てている所からも苗木が移植されるなどご縁があり、素晴らしい取り組み。企業の幹部の講演謝礼等をプールして意義ある活動に支援しているので、協賛支援したい。
- ・市では土地改良区の事業を長年支援してきたところでありこの取組みが成功することを願っている。
- ・里山シンポジウムは、千葉県内で里山センターを作り里山条例の地域で活動している。その活動団体等が参加して、5/18に東京情報大学で第5回の総括シンポジウムが開催されるので、この取組みも2番目の分科会「里山と森の復元」として参加頂き、発表して欲しい。
- ・あすみが丘住民として産廃の件では心配していたが、植樹祭に参加できて良かった。今後、森に復元していくために一緒に手入れや植林の活動に参加していきたい。
- ・地元として大勢の方の力を得たことを踏まえて私たちも協力して守っていききたい。
- ・産廃の脅威は開発地の周辺に多くこの辺りで守られているのはこの村田川源流域のところくらいで、これは皆さんの信念と土地改良区として土地の購入を決定してくれたことによるもので、あすみが丘はじめ大勢の方の力を得て今後も環境を守っていきたく、ご支援をお願いしたい

参加者の感想等

- ・子供会役員の方：とても楽しく子供たちも経験のない生き物や井戸水にふれ、生き生きしていた。植えた木の様子を時々見に来たい。手入れなどをするとき参加したい。
- 観察会と一緒に参加したいと来られた大人の方も、こんなに貴重な自然が残っていると知らなかったとの感想。
- ・植林に参加できてよかった。土が砂地のように栄養や水分がないのには驚いた。うまく育て欲しい。あいているところも、早く木が育つ環境にしてあげたい。 以上